

5歳児クラス 10月 第3回 「しあわせミシュカ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：絵本提示「皆こんにちは、ぼくはミシュカ、ぼくはこれから旅に行くんだ。どんなことが待っているか皆も一緒に見てね」等で、お話を始める。 	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①幸せは人と比べるものではなく、その人その人で価値観が違い、感じ方や受け止め方でも違うことを感じ取れるように読む。 ②旅した場所で誰と出会い、何をしたのか記憶に残るように読み進める。 	保育士の役割	
		・会話をする ・子どもの一員になりお話を聞く	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい 記憶	お話しを思い出しミシュカの好きな物を発表することが出来る	
設問	ミシュカの好きなものをお話しましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ミシュカの気持ちや考えていることがわかったかな」 	教材	絵本 iPad(シアターセット)
		保育士の役割	
活動②	ねらい 巧緻性	指先を使い紙粘土で「しあわせミシュカ」を作ることが出来る	なまえ
設問	「しあわせミシュカ」を粘土で作りましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：「おーい僕も幸せを見つけていくんだよ」ハリネズミ（紙粘土の体にモールがさしてあり、目が付いている）が登場（※必ず事前に試作を兼ねて制作する） 	教材	提示用セット[紙粘土（1人1/4）モール（1人20本）目玉用ビーズ（1人2個）] 紙粘土（1人1/4） モール（1人20本） 目玉用ビーズ（1人2個） 台紙（1人1枚） ビニール袋（1人1枚）
		保育士の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> 講：「先生も一緒に行きたいな」 保：「じゃあ、先生もハリネズミを作って一緒に行こうよ」等で、材料をもらい見本を見せる。 紙粘土は、パーツを作つけるのではなく、塊から摘み出して形を作っていく。 モールはそのまま刺したり半分に丸めて刺しても良い。 目玉ビーズを付ける。 子ども達にも、材料を配り「しあわせミシュカ」を作る。 出来上がったら台紙に乗せる。 工夫した所や、難しかった所、ハリネズミの名前など決めて発表するのも良い。 発表会や展覧会のようにするのも良い。称賛して終了する。 <p>※持ち帰る時にビニール袋を使用する。</p>	保育士の役割	・ハリネズミ登場 ・材料配布 ・子どものフォロー ・称賛

数チャレ	ねらい	数	10個にすることが出来る	教材
設問	おはじきを使い10個の操作をしましょう			おはじき お皿(5個～7個入り) お皿(数個)
活動内容	・今月は10個の操作です。お皿に5～7個入れておき、あと何個入れたら10個になるか、別のお皿(数個入っている)そこから5～3個取りお皿に入れて10個になったか数える。(クラス・個人に合わせて数を調整する。)		保育士の役割 ・皿提示 ・子どものフォロー	

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	「幸せ」と言うもを感じるきっかけとなるように、登場人物と子ども達がリンクしてお話の世界に入れるように読むことができたか
活動①記憶	全員が発言出来るように質問を事前に用意できたか(考える内容も含む)
活動②巧緻性	指示をきちんと出しながら制作活動を行ったか 子ども達が「自分でも作れる!」と自信が持てるような制作指導をクラスに合わせて行ったか
数チャレ	クラスに合わせた実施の仕方を工夫できたか

練習タイム♪

*** テーマ・生活 ***

お手伝いチャレンジ!!

<チャレンジ方法>

- 子ども達と一緒に
「自分で出来ること」「自分で挑戦してみたいこと」
「お家の人が頼みたいこと」
等をテーマにして先ずは家族で話し合って見ましょう。
※「家族の一員」としての自覚の芽生えを育てるためにも
子どもの言葉に耳を傾け、実際にお手伝いの行動の後には
たくさん褒めてあげて下さいね!。



子どもは「自分が役に立った」と思うことで自信・自尊心が育ちます。

今月のえかきリズム

*** コックさん ***



えかきリズム
の動画は
こちら



練習タイム
の動画は
こちら

